

# 授業支援システムの導入

国策として、児童・生徒1人1台環境が推進されています。この環境で児童・生徒機のコントロールや、学習活動を効果的に行うには、授業支援システムが有効です。弊社がご支援する自治体さまでの授業活用例もご紹介。

## 授業支援システムで1人1台環境をフル活用

### 「協働学習、一斉学習、個別学習」の効果的な実現や児童・生徒機のコントロールができる

授業支援システムは、普通教室で「協働学習、一斉学習、個別学習」を効率よく実現するための要になります。以下は、主な活用例と機能です。

#### <<活用例について>>

「協働学習」 ・複数人の画面を表示して、見比べながらの授業  
・ペアやグループでの学習活動 ・児童や生徒によるプレゼンテーション  
・教材や他の児童や生徒がまとめた内容に対するクラス全員での話し合い

#### 「一斉学習」

・デジタル教材の提示による、児童や生徒の知識習得や興味関心の向上

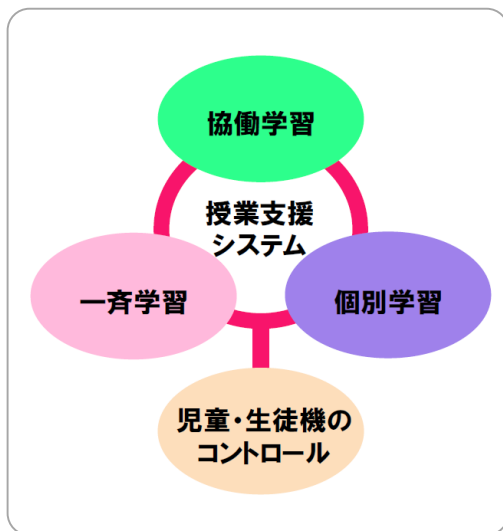
#### 「個別学習」

・児童や生徒一人ひとりの学習の把握(課題への取り組みや調べ学習など)

#### <<機能について>>

「授業支援システムの標準的な機能」 ・児童・生徒機のモニタリング ・画面転送 ・児童/生徒機の操作ロック  
・児童・生徒機のログオン/ログオフ、電源のオン/オフ ・授業終了後の環境復元 など

「そのほかの機能」 ・デジタル教材やテンプレート ・指導ノウハウの共有 ・アンケート作成集計 など



## 今までにない新たな授業作りができる

### 発表やグループ討議などが行いやすく 能動的な学習へと変化させられる。

普通教室で授業支援システムを活用している事例のご紹介です。どちらも弊社が、ICT機器の整備から授業作りまでサポートしている自治体さまでの事例です。

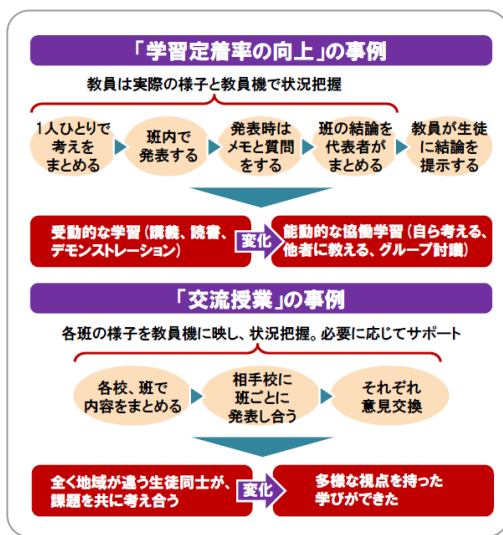
#### <<学習定着率の向上>>

学習定着率の向上を目的に、数学の授業で一つの課題を、自分と他者の考えを比較して学び合った事例。課題は「比例定数が負の数の場合について $y=ax$ のグラフの特徴を調べる」。生徒一人ひとりが考えをアプリケーションでまとめ、班内で発表。発表時は、他者の考えをメモして、わからない箇所があれば質問。そして、班の結論を代表者がまとめた。その間、教員は実際の様子と教員機で状況把握。最終的に教員が生徒に結論を提示。

受動的な学習(講義、読書、デモンストレーション)から、能動的な協働学習(自ら考える、他者に教える、グループ討議)に変化し、深い学びにつながった。

#### <<交流授業>>

他校と自校の生徒が、生徒機をSkypeで繋ぎ、震災について意見交換した事例。事前に各校、班にわかれて、自然災害の特長と減災の方法について、生徒機のアプリケーションを使って内容をまとめた。そして、相手の学校の班に、その内容を提示して説明。発表後は意見交換を行った。教員は、各班の様子を教員機に映し、状況把握するとともに、必要に応じて生徒をサポート。全く地域が違う生徒との交流授業により、互いの地域が直面する自然災害について伝え合い、課題を共に考え合うことで、多様な視点を持った学びができた。



## 今後の児童・生徒1人1台端末の整備を見据えた授業支援システムもある。

授業支援システムの一例です。普通教室での利用を前提にご紹介しています。導入検討の際は「どのような教育・授業を実現していきたいのか」という方針を持った上で、選定されるのがよいでしょう。

### みらいスクールステーション(富士ソフト)

授業の組み立て(指導案の作成)が行え、授業ノウハウの蓄積と教員間での共有ができる。教員機に表示される授業計画に沿って、さまざまな教材コンテンツにアクセス可能。教員機と児童・生徒機が連動させられ、デジタル教科書のページめくりや描画、画像の転送などをコントロールできる。

### Netウィッチ4(コンピュータエデュケーションシステム)

各学校・教員に合わせてメニューをカスタマイズすることも可能。同社が提供する「Hi! Touch」との併用で、タブレット端末の児童・生徒機の画面を、教員機に表示させることもできる。

### ThinkBoard クラスルーム(ゼッターリンクス)

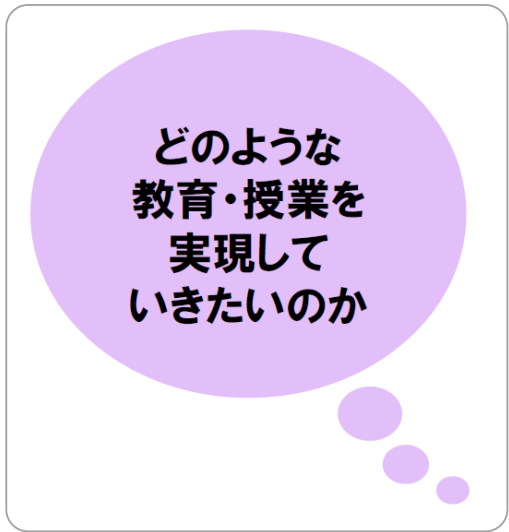
複数人の画面表示をさせることで、児童・生徒それぞれの考え方を見比べながら意見交換ができる。どのようなデジタル教材にも、書き込みが行え、さらに、児童・生徒の書き込みと声を録画することができ「思考のプロセス」が読み取れる。

### SKYMENU Class (Sky)

デジタル教材を投影して拡大表示させられたり、教材への書き込み・書き直しが容易であったり、**教員の細やかな要望・意見が取り入れられたシステム**。デジタルもぞう紙や自習アプリなど、各種アプリケーション(機能)も含まれている。

### らくらく先生スイート(テエル)

授業支援システムやデジタル教材、児童・生徒の評価や出欠管理など、**授業や校務を総合的にサポートするシステム**。授業準備の短縮に加えて、効率的な評価の記録などが行える。



## 新たな授業案やICT環境の確立などが急務

### モデル校での実証研究や、中長期計画の見直しなどが有効。

国策とともに、**本格化する児童・生徒1人1台端末の環境**。この環境を効果的に使うことで児童・生徒は、**基礎・基本的な知識や技能の習得**、さらには、**思考力・判断力・表現力を主体的に身に付ける**ことができます。

そのために、モデル校での実証研究などを通して、**新たな授業案やICT環境の確立(授業支援システムや無線LAN環境などの整備)**などが、急務ではないでしょうか。

すでに整備されているICT機器やソフトウェア、ネットワーク環境はもちろん、**どのような学びを創造していくのか**という考え方をもとに、授業支援システムを含めて**教育の情報化の全体像**を描いていくのがよいでしょう。

すでに国策や自治体の状況に合わせて、見直されていらっしゃるかと思いますが、**教育の情報化に関する中長期計画の修正は重要**です。

授業支援システムの選定やネットワーク構成の検討をはじめ、**教育の情報化全般**に関するご相談などございましたら、ぜひお声がけください。



学校ICT全般について、お気軽にご相談ください。

教育の情報化を支援する



学ぶ、みらい、e笑顔®

### 学校教育市場に特化した専門企業

教育とICTに関する各種サービスをワンストップでご提供します。支援実績では、文部科学省「学びのイノベーション事業」や、総務省「フューチャースクール推進事業」の推進などもあります。

